

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	27年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長	
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト				
事務事業名	第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の推進	継続	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7819	
目的	対象(誰・何を)	本組合から発生する温室効果ガス				事業 期間	平成24~28年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	総排出量を削減し、環境負荷を低減します。					
概要	目標年度における事務・事業活動から排出される温室効果ガス総排出量の削減目標・取組内容を設定し、計画を確実に推進します。				根拠 法令等	地球温暖化対策の 推進に関する法律	
28年度の実施予定	実行計画に定める取組項目・取組事項について、四半期毎の職場単位の報告を受け、その集計結果を記者発表及び本組合ホームページにて公表します。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
					関連 シート		

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画に定める取組項目・取組事項について、四半期毎に集計を行い、進捗管理を行いました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	3,524	4,460	4,480	4,155	
合計	千円	3,524	4,460	4,480	4,155	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	最終目標	28	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
環境に配慮した取組 の達成状況(項目)	目標	13	15	18		18	環境に配慮した取組の目標を、達成した項目数を算出します。	
	実績	11	12	11				
(進行管理型)	事業進捗状況(28年度)			順調・やや遅れ		遅れ		
温室効果ガス総排 出量削減率(%)	目標	3.0	4.0	5.0		5.0(累計)	平成23年度を基準年度とした当該年度の温室効果ガス排出削減率を算出します。	
	実績	7.5	16.4	19.5				
(進行管理型)	事業進捗状況(28年度)			順調		やや遅れ・遅れ		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	温室効果ガス総排出量の削減率については、名古屋港埠頭(株)への業務移管、施設の統廃合に加え、道路照明等の設備更新などにより、基準年度(平成23年度)に比べて19.5%の削減となり、目標を達成しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 名古屋港管理組合においては、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化対策実行計画を策定し推進することが義務付けられています。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 本組合から発生する温室効果ガス総排出量を削減し、環境負荷を低減することは、上位施策である良好な港湾環境の形成に貢献すると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 環境に配慮した取組においては未達成項目がありましたが、目的である温室効果ガス総排出量の削減は目標を大幅に上回っています。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 実行計画については、具体的な取組の実施方法並びに監視及び測定の手順を定め、円滑かつ効果的に推進しています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			温室効果ガス削減に係る項目は、概ね目標を達成したものの、全体としては目標を達成できませんでしたが、第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画は、最終年度の平成28年度末で終了し、次期実行計画に移行するため。
課題		29年度以降の取組	
第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の対象期間が終了しますが、今後も温室効果ガス総排出量の削減に取り組む必要があります。		平成29年度に第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画を策定し、目標達成に向け、実行していきます。	